

広告

早期発見!

慢性腎臓病

「沈黙の臓器」の声に耳を傾けよう

～GFR値が59以下の方はお医者さんに相談を～



女優 榎れい(だん・れい)さん

みんなが元気で、健康に暮らせる世の中になってほしいと願っております。日頃から自身の体調の変化をチェック、信頼するお医者様にご相談するという事を、私も始めていきたいですし、皆さんにもそのようにしていただけたらと思います。

日本では、その潜在患者数の多さから新たな国民病とも呼ばれている「慢性腎臓病(CKD)」。

「沈黙の臓器」といわれるほど疾患の初期には自覚症状がないため、自分では気づきにくいのも特徴です。

しかし、CKDは血液検査と尿検査によって早期の発見が可能です。

2022年に腎臓病啓発アンバサダーに就任した女優・榎れいさんが、腎臓の専門家である3人の先生にCKDについて伺いました。

8人に1人が慢性腎臓病といわれる時代

慢性腎臓病(CKD)は新たな国民病とも呼ばれていますが、そんなにも多くの方が慢性腎臓病にかかっているのでしょうか。

猪阪 日本では成人の8人に1人が慢性腎臓病といわれていますが、初期にはほとんどの方に自覚症状がありません。そのため、腎臓は「沈黙の臓器」と呼ばれています。吐き気や息切れなどの症状があらわれるころには、かなり進行した段階といえます。

植 どのような状態になったら慢性腎臓病と診断されるのでしょうか。

柏原 定義としては、腎臓の働き(GFR)が健康な人の60%未満に低下するか、あるいはたんばく尿が出るなどの腎臓の異常が3か月以上続く状態を慢性腎臓病といいます。腎臓の主な役割というのは、余分な老廃物を体外に捨てたり、余分な水分を捨てたりすることなのですが、その機能が落ちてくるとGFR値も下がってくるのです。

腎臓が悪くなると心臓も悪くなる

植 先ほど、症状があらわれるころにはかなり進行しているというお話がありましたが、その状態で病気が発見されると、治療やその後の経過は大きく変わってくるのでしょうか。

柏原 慢性腎臓病が重症化して腎不全になると、血液透析または腎移植などを行う必要が出てきます。日本では非常に良質な透析療法を受けられますが、やはりQOL(Quality of life:生活の質)は低下し、合併症もあらわれることがあります。内田 慢性腎臓病は基本的には進行してしまふ病気です。かなり進行した段階で

CKDステージ分類	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5
eGFR値*	90以上	89~60	59~30	29~15	15未満
腎臓の働き					
症状	自覚症状なし		貧血など	疲れやすいなど	食欲低下 呼吸困難など
治療			生活改善・食事治療・薬物治療		透析 または 腎移植

*GFR 値(糸球体濾過量)を直接測定することは身体への負担が大きいため、通常、血清クレアチニン値と年齢、性別に基づいて推算されます。こうして算出された値は、推算 GFR (eGFR) 値と記載されます。出典:厚生労働行政推進調査事業補助金(腎疾患政策研究事業)「腎疾患対策検討会報告書に基づく対策の進捗管理および新たな対策の提言に資するエビデンス構築」班「おしっこ(尿)と腎臓の不思議」



川崎医科大学 特任教授
日本腎臓病協会 理事長
柏原直樹(かしはら・なおき)先生

発見されると、機能を回復するのは難しくなってしまう。ただ、もし早い段階でなんらかの行動を起こせば、将来透析になってQOLが低下するという状態を遅らせることは可能です。

植 透析を遅らせるには早期発見が大切、ということですね。

猪阪 はい。そのとおりです。また、慢性腎臓病のリスクは透析だけではありません。心腎連関といって、腎臓と心臓には密接な関わりがあり、どちらかが悪くなるともう一方も悪くなるという悪循環の関係があります。たとえば、腎機能が低下するほど心臓病が起こりやすかったり、入院・死亡のリスクが高くなったりすることがわかっています。

植 腎臓の病気が心臓にも悪い影響を及ぼすというのは知りませんでした。

猪阪 ですから、心臓病を防ぐためにも、まずは腎臓を保護する治療を始めることが重要なんです。透析導入までまだ時間がある慢性腎臓病の初期のステージであっても、心臓の病気になるリスクを抑えるために早めの治療が大事になります。

柏原 先生、お話を聞いて、腎臓病の早期発見の大切さを改めて実感しました。皆様にもぜひお話を聞いてほしいです。

内田 先生、お話を聞いて、腎臓病の早期発見の大切さを改めて実感しました。皆様にもぜひお話を聞いてほしいです。

